

令和元年度第1回三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会議事録

1 開催日時 令和元年10月17日 14:00~16:00

2 開催場所 三重県合同ビル G201 会議室

3 出席者数 出席11名 欠席4名

4 内容〈事項〉

(1) 会長・副会長の選出について

(2) 「第3次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2015-2018)」の実績及び「第4次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2019-2022)」の取組について

(3) ヘルプマークの普及について

(4) 三重おもいやり駐車場利用証制度について

(5) 「県有施設のUD整備指針」(仮称)の策定にかかる取組状況について

(6) その他

5 概要(開会行事、事務局からの説明は省略)

〈協議事項〉

(1) 会長・副会長の選出について

委員の互選により、会長は白石委員、副会長は松田委員となった。

(2) 「第3次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2015-2018)」の実績及び「第4次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2019-2022)」の取組について

【委員意見】

実績の率はどのように算出しているのか。

→ 「ユニバーサルデザインに関する意識調査」(e-モニター)により計上している。

【委員意見】

とこわか大会のボランティア等についてUD団体へ説明があったが、競技についても勉強しないと対応できないので、競技ルールなどの資料を入手しやすくできないか。

→ とこわか大会の事務局の方へもお伝えさせていただいて、皆さんが快適に大会を迎えられるよう調整していきます。

【委員意見】

チェアラグビーの試合を観戦した時、学生が多く見に来ていたがルールをよく知っていた。観客が多ければ選手も力がもらえると言っていたので、とこわか大会に興味を持ってもらえるように、授業の中などで障がい者スポーツのルールなども周知する機会が欲しいし、盛り上げて欲しい。

→ 貴重なご意見として拝聴させていただきます。

【委員意見】

UDの情報発信について、興味がない人たち・なかなか知りえない方々への情報の発信やピアールができるように働きかけて欲しい。

→ 検討、情報交換をしていきたい。

【委員意見】

ピクトグラムなど分かりやすいものも利用して、ユニバーサルデザインを発信していくなど、ちょうどいい機会だと思う。

→ 検討、情報交換をしていきたい。

(3) ヘルプマークの普及について

【委員意見】

ヘルプマークの認知度は高まっているように思えるが、当事者によっては認知度が低いと感じることがある（例：自閉症の方々）。こうした方々への啓発が課題だと思う。また、ヘルプマークを必要とされる方の対象が広いため、普及啓発の対象を明確にできていないと感じる。具体的な対応策はあるのか。

→ 県としてヘルプマークの普及・啓発には積極的に取り組んでいる。当事者により認知度が低い状況があるのであれば、具体的な状況をお伝えいただければ、直接、普及・啓発に伺います。ヘルプマークの普及・啓発対象者の絞り込みは今後の検討課題と考えている。

【委員意見】

ヘルプマークを持っていても、その方がどのような障がいのある方か、わからない場合がある。ヘルプマークはマークを持っている方が周りの方からの支援を受けやすくなるためのツールであり、かつ周りの方が「おもいやり」の行動に踏み出すためのツールでもある。事実、最近では「ヘルプしますマーク」の取組の流れが見受けられる。こうした新たな取り組みが三重県から発信できれば望ましい。また、ユニバーサルデザインの概念が社会に広がれば、ヘルプマークを付けなくても社会全体が「おもいやり」の行動を自然に起こせるようになると思う。

→ 貴重なご意見として拝聴させていただきます。

【委員意見】

ヘルプマークの受け取りについて情報発信の方法を検討してはどうか。特に外国人への情報発信について、三重県生活環境部の多文化共生を紹介するホームページで情報発信をしてはどうか。すでに発信しているとすれば情報発信の方法を再検討してもよいのでは。また、年賀タウンメール裏面のヘルプマーク紹介の文面に多言語表記を追記してはどうか。

→ ヘルプマーク、ヘルプカードの配布開始時点で、すでに同HPで情報提供を行っています。ヘルプマークの受け取り方法の掲示などについて再度、確認をします。また、年賀タウンメールの取組については今回提示の内容で既に取組中のため、今後の事業推進の参考とさせていただきます。

【委員意見】

ヘルプマーク及び年賀タウンメールに関する情報発信の方法について、利用者の方の声を紹介するなど、見て楽しい内容にしてはどうか。

→ 貴重なご意見として拝聴させていただきます。

【委員意見】

ヘルプマークを利用する当事者として、常時ヘルプマークを掲示するのではなく、周りの方の援助を必要とする状況（例：車いす利用者が坂道を上る場合）になったときにヘルプマークを掲示するなど、自己判断も必要なのでは。そのような使い方があることも啓発内容に盛り込んではどうか。

→ 貴重なご意見として拝聴させていただきます。

(4) 三重おもいやり駐車場利用証制度について

【委員意見】

年々、利用証交付者が増えるなか不適正利用も増えており、車いす利用者が間口幅 3.5mのおもいやり駐車場を利用しにくくなっている。ドライバーが健常者で、利用証交付者を送迎する場合には、乗降時のみおもいやり駐車場を利用し、車を一般駐車場に停める等の配慮が必要ではないか。こうした内容を具体的に啓発する必要があるのではないか。

→ 利用証発行時の窓口では、ゆずりあい、おもいやりの気持ちでの利用を案内しているが、ご指摘の内容を含め引き続き啓発していきます。

【委員意見】

三重県の区画数が少ないということはないのか。

→ おもいやり駐車場登録施設数は全国第一位となっている。登録施設数に比べて区画数が若干少ない面もあるが、今後も駐車場管理者に対し駐車場の登録について啓発をしていきます。

(5)「県有施設のUD整備指針」(仮称)の策定にかかる取組状況について

【委員意見】

多機能トイレやエレベーターなどは整備に費用がかかるが、今回の調査は、エレベーターがある場合について調査しているのか。

→ エレベーターは、ある場合で調査していますが、県有施設にはエレベーターが無い施設もある。各施設、さまざまな配慮や工夫がなされているので、その部分を紹介していきたいと考えています。

【委員意見】

第3次の実績では県立高校のエレベーターと多機能トイレがあったが、第4次では多機能トイレだけになっている。エレベーターがないから高校が選べないとならないようエレベーターについても進めて欲しい。

→ 貴重なご意見として拝聴させていただきます。

【委員意見】

公民館など市町の施設も調査しているのか。

→ 調査については、まずは県有施設について調査をしており、市町の施設は調査していません。県で指針を示して、市町へ広まって利用してもらえるようにしていきたいと考えています。

【委員意見】

今回使用したチェックシートは、他で使用することは可能か。共有して欲しい。

→ ホームページで公開などはしていませんが、チェックシートについてはどんどん利用していただいて構いません。ご要望があればデータを送付させていただきます。

【委員意見】

ハード面は整備されていて当たり前だが、庁舎にきてどこに行けばいいかわからないということが無いように、案内にかかる良い事例を情報共有して欲しい。

→ 良い事例については、情報共有して行きたい。

【委員意見】

外国の方が来庁されるのは主に手続きであり、その課がどこかがわからない。また、受付について、資料では「？」マークを使用しているが、最近は「i」インフォメーションマークを使用している例が多い。また、窓口(事務所)について、鉄道駅のようにナンバリングなどすれば、よりわかりやすくなるのではないか。

→ 貴重なご意見として拝聴させていただきます。

【委員意見】

調査には、当事者がどれだけ参加しているのか。よく知っている限られた人だけがチェックしているのでは意味がない。利用者が、だれでもその場で評価できるような方法を考えてはどうか。

また、ソフト面をどのように評価しているのか、具体的な方法について知りたい。

→ 県有施設といっても建築年度もバラバラで、様々な課が管理している中、統一して評価していくことが難しい。当事者の意見については、今後、UD団体等へどのような点に配慮すればよいか、聞き取りたい。

また、ソフト面の評価について、いろいろな施設の方々への聞き取りの中で、受付がある施設は、来庁者があつた時点で受付の方による車いすの貸し出しなど対応していただいている。さらに様々な来庁者への対応として、職員が手作りの様々なサインを使い分かりやすく誘導している。そのような良い事例を情報共有して行きたい。

【委員意見】

多機能トイレについては、異性介助の際、男女別のように設置されていると入りにくい場合があるので配慮して欲しい。

また、いろいろなところに休憩できる椅子があると良いです。

→ 貴重なご意見として拝聴させていただきます。